

<中国の生活について>

齋藤正幹

皆様始めまして、私は現在、中国北部にある山西省太原市にある山西大学という大学に
来ています。まず、この留学に向けて様々な準備を行ってくださった埼玉県国際課の皆様、
大学において休学の準備を行っていただいた職員の皆様、日頃より応援してくださってい
る友人の皆様、そして最後に背中を押してくれた両親にこの場をお借りして感謝したい
と思います。このレポートを通して、埼玉県と山西省のつながりや埼玉県の留学制度を知
っていただけると嬉しいです。

留学生活が始まって 1 か月が経過しましたが、様々な気づきがあったので記しておき
たいと思います。中国を 3 つの言葉で表すならば「安い・早い・面白い」と表せるとしま
す。まず「安い」という点についてですが、日本と比較して本当に安いです。例えば学食
では、1 食 10 元以内（日本円で 160 円）で済ませることが可能でした。



この食事で 10 元（約 160 円）です。

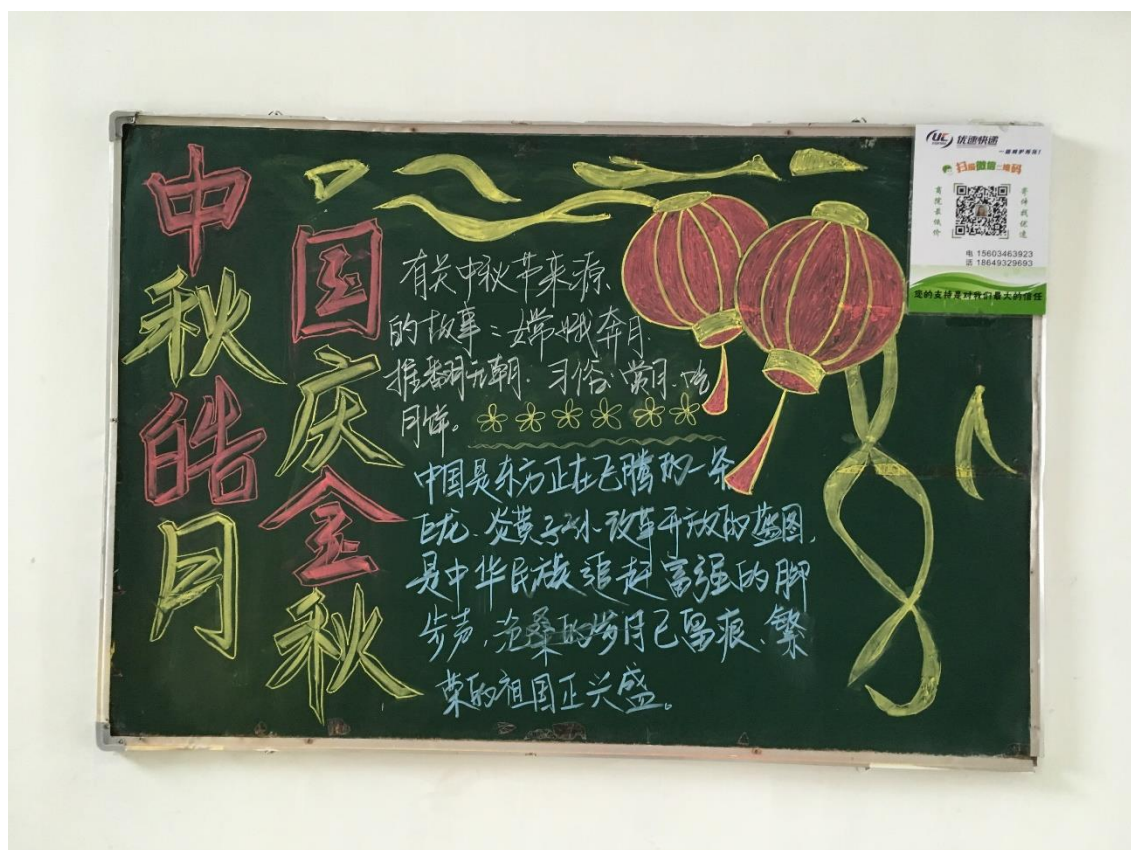


ゲームセンターでは硬貨ではなく、
すべて QR コード決済でした

2 点目の「早い」に関しては、時間を追って景色が変化していくスピードがとても早いこと、
レジでの清算がとても早いことが挙げられます。以前埼玉県の留学制度で来ていた方にお
話をうかがう機会があったのですが、1 年前と景色が違って迷うことも多々あると聞き
ました。また、レジでは QR コード決済が進んでおり、携帯電話でスキャンしてから金額を
指定して送金すれば商品が買えることから、1 点だけ買いたいときでも、わざわざ長い列に
並ぶ必要がないということが挙げられます。支払いだけでなく、個人間の送金にも使え
るので、食事の後に割り勘する際にも大活躍しています。3 点目の「面白い」という点では、
山西省は内陸にあることから、日本語はもちろんのこと英語も通じません。乗り換えで言
った上海ではある程度通じるところがありましたが、内陸ではほとんど通じないので、中
国語を学習する環境としてはとても良いと思います。今年の 4 月に中国語を学び始めてか

ら約半年しか経過していませんが、日々中国語に囲まれて生活している中で中国語に触れる機会が非常に多いことから、学習するスピードが日本にいた時よりも早いと感じています。

最後に、現在僕が住んでいる山西大学商務学院の様子を紹介します。留学生の寮は3人1部屋で、僕は滝田君と一緒に生活しています。寮に住んでいる他の国の人は、ガーナ、ブラジル、ウズベキスタン、ロシア、チェコ、アフガニスタン、スーダン、パキスタンと、いろいろな国の人が生活しています。それぞれ違った背景をもっていますが、全員協力して生活しています。中国のゴールデンウィークである「国慶節」の前には、同じ寮に住む中国人の学生がきれいな絵を描いてくれました。



今年は10月1日から8日まで休みがあり、帰省や旅行に行く人が多かったです。